



エゾライチョウ [*Tetrastes bonasia*]

3月が暖かかったこともあり、塘路湖周辺は季節の進みが早かった。エゾヤマザクラはゴールデンウィークに合わせてように咲いて観光の方には良かったことだろう。湿原帯ではオオジシギやウグイスの声が響き、夏鳥が姿を見せる季節がきた。

釧路湿原では生息数が少ないというエゾライチョウは、昨年も姿は見たものの、繁殖までは確認されなかった。

4月下旬のある日、塘路原野で初めて番いが歩いているのを確認した。写真奥に雌成鳥が写っているのが分かるだろうか。今年は可愛い雛たちの姿が観られるかもしれない。



塘路フィールドノート【4/15~5/14】

【野鳥】

冬鳥の姿が少なくなり、今年も夏鳥の季節がやってきました。湖畔の森や湿原帯で、夏鳥たちが春を謳歌しています。



アオサギ (コロニー)

コロニーは放卵中と思われる。うっかり巣に近づくと、巣の周辺はちょっとした騒ぎとなる。



エゾアカゲラ (シラルトロエト)

雄が巣穴を掘り、雌が上から監督をしているようだ。これから繁殖期に入ります。



ルリビタキ (塘路湖)

この個体は雌。雌雄異色で雄はその名の通り淡い青色で美しい。ヒタキ科。



チュウヒ (シラルトロ湖)

トビよりも小型の猛禽類。V字翼で草原の獲物を探しながら低空滑空する。タカ科。



オオジシギ (サルルントー)

朝夕「ズビュー・ギオギオー」という独特な鳴き声が湿原に響く季節が来た。シギ科。



ウソ (塘路原野)

昨年に比べると非常に少ない印象。湖畔の森で見掛けた唯一の雄個体。アトリ科。

【植物】 早春の開花は、例年よりも早く、あっという間に終わってしまった印象。桜については、丁度ゴールデンウィークにピークがきて、観光の人たちには良かったことだろう。



エゾヤマザクラ [蝦夷山桜]

今年は開花が早く、ゴールデンウィークに間に合った。花と葉が同時に開く。バラ科。



キタコブシ [北辛夷]

桜より少し早くに大きな白い花を咲かせる。花言葉は「愛に忠実」モクレン科。



ヒメイチゲ [姫一華]

春に咲くイチリンソウの仲間。花言葉は「あなたを守りたい」キンポウゲ科。

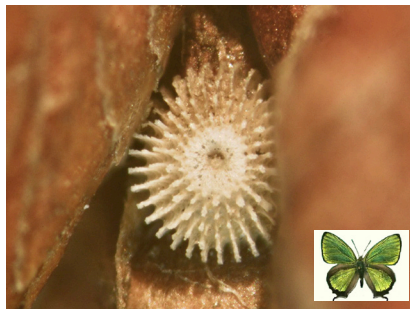
【昆虫】

開花に合わせてようにマルハナバチやタテハチョウが活動を始めた。シジミチョウは4月末に孵化し、伸び始めた冬芽に潜りこんだ。



アカマルハナバチ (センター内)

館内のトイレを開けたら女王蜂が飛び出してきた。刺さないと分かっているけど怖い。



アイノミドリシジミ卵 (塘路原野)

4月末には孵化し食草のミズナラ新芽に潜り成長する。7月雄は鮮やかな金緑色の蝶となる。



ルリタテハ (塘路湖畔)

成虫で越冬する春型のタテハチョウの仲間。瑠璃色の線が森の中で美しく舞う。

◎早春のシラルトロ湖畔で野鳥を観察

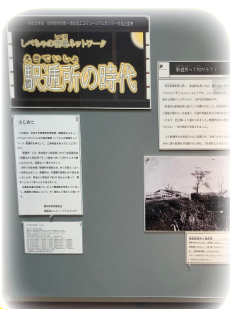
4月22日(土)は早春のシラルトロ湖畔で野鳥観察会を行いました。風が強い生憎の天候で小鳥たちの動きは今一步でしたが、町道側の湖畔を一望できる高台にてスコープを使った水鳥の観察では、コガモやヒドリガモに混じって、過去の観察会で記録のなかったハシビロガモやシマアジの番いなどが確認されました。珍しい水鳥がいる状況に、スコープを覗きながら「どこにいるの? 飛んじゃった? いやまだ観れるよ!」と大盛り上がり。

後半は自然情報館へ移動し、トラツグミ、エゾフクロウの骨格標本や、ヤマシギ、エゾアカゲラ、アトリ、キタキバシリなどの乾燥標本を見ながら、それぞれの野鳥の体の構造の違いや羽根や骨の仕組みについて解説。参加者たちは、実際に標本を手にとって、その軽さや体の仕組みを体感した。

確認種 23種類 参加者 16名



◎しべちゃ町宿場ネットワーク駅通所の時代



4月29日(土)～5月7日(日)までの期間、当館レクチャールームでは、「しべちゃ町宿場ネットワーク駅通所の時代」(標茶町博物館との共催行事)を展示致しました。鉄道が普及する昭和の時代まで、人々の旅程に不可欠だった「駅通所」は現在道内に15箇所程しか現存していない。今回の展示では標茶町内に所在していた駅通所13箇所における当時の歴史的背景やエピソードについて詳しく触れた。



◎新緑の季節。芽吹きを観察してみよう

花の季節が早々に終わると、次は新緑の季節がやって来ます。5月中旬になり、山の植物たちがどのような芽吹きをしているか確認をしてきました。初々しい芽吹きが、それぞれに面白い形や特徴をもっており、これからの新緑の季節を彩ります。鮮やかな新緑の季節は、もうそこまで来ています。



エソニワトコ



ミズナラ



ハリギリ



タラノキ



ホウノキ

6月の自然ふれあい行事

事前の申込が必要です。

新緑の湿原 野鳥観察会

[日 時] 6月10日(土) 8時～10時

[定 員・参加料] 15名 無料

[開催場所] シラルトロ湖畔・蝶の森(集合はシラルトロ自然情報館駐車場)

◎申込・問い合わせは塘路湖エコミュージアムセンターまで

ラムサール条約釧路会議30周年記念事業初夏の花を見に行こう

[日 時] 6月4日(日) 10時～12時

[定 員・参加料] 15名 無料

[開催場所] 温根内ビジターセンター

◎申込・問い合わせは温根内ビジターセンターまで

(0154-65-2323)

◆日出・日入時間 4/15(4:40,18:04). 4/30(4:16,18:21).5/14(3:58,18:37)

～指導員のひとり言～

■宮崎駿と高畑勲のコンビが実写映画を作っていたことはあまり知られていない。アニメ「風の谷のナウシカ」の興行収入をつぎ込んで制作したのがドキュメンタリー「柳川掘割物語」である。主人公・広松伝さん(1937～2002)は、福岡県柳川市の担当係長だった。400年以上の歴史を持つ掘割(水路)は高度成長期に汚れ悪臭を放ち、市は埋め立てして下水道化を選択した。これに奮然として反対したのが広松さんだ。市長に直談判する一方、住民自身の手で掘割のごみや泥をさらって再生し、環境と文化を守る道を説いて回った。新聞は「係長の抵抗」と書いたが、出前講座100回の効果がついに政策を転換させた。総延長470km、石狩川の実に2倍近い。川との付き合いは面倒ではあったが、水郷独特の風情が魅力、今では年間100万人もの観光客が訪れる。掘割は柳川の象徴であり、住民の誇りにもなっている。5月15日は水環境に一生をささげた人物の命日。「水は私の命ですけん」が口癖だった。

釧路湿原国立公園

塘路湖エコミュージアムセンター あるこっと

☎ 088-2264 北海道川上郡標茶町塘路原野

TEL: 015-487-3003 FAX: 015-487-3004

E-mail: emc@hokkai.or.jp

Instagram [torokoemc](https://www.instagram.com/torokoemc)

開館時間: 10:00～17:00

(11～3月: 16:00まで)

休館日: 毎週水曜日 12月29日～1月3日

入館無料